



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 10-6 村上駅南ビル 703

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2009年6月号

7月5日、静岡県知事選挙

国会が55日間延長になった。通常国会は150日間と決まっているため、1月5日に始まった通常国会は6月3日で終了する予定だった。しかし、麻生内閣は7月28日まで会期を延長することとした。この通常国会の間に衆議院を解散すると、早ければ8月2日、遅くとも9月6日までには総選挙が実施されることになりそうだ。ただ、通常国会中に解散をしなければ9月中旬から10月中旬の総選挙になる。

さて、総選挙前の7月5日は静岡知事選の投票日である。選挙の告示は6月18日（木）。17日間の暑い暑い戦いが始まる。民主党県連は川勝平太氏を候補者として推せんすることを決定した（裏面参照）。知事は静岡県のトップ・リーダーである。知事にリーダーシップを思う存分発揮してもらうためには、中央官僚が権力をもつのではなく、地方が裁量権を持つことが必要である。いわゆる、地方主権（地方分権）の社会を作ることが必要なのである。

民主党は地域主権（地方分権）を進めるためには、財源、権限、情報さらには人材も地方へ移すべきだと主張してきた。これまで、地方自治体は箸の上げ下ろしまで中央省庁に指示されてきた。「あれをやってはいけない」とか「これをやれ」とか、こと細かく中央省庁は地方自治体に指示してきた。失敗は成功のもとといわれるが、地方自治体は失敗する自由すら与えられてこなかった。ここ数年、多少は地方分権が進んだといわれるが、相変わらず地方自治体が大挙して中央の関係省庁に陳情する様子を見ると

さほど改善されていないようだ。財源や権限などを握って離さない“官僚による政治”がいかにか時代遅れかは皆さんもおわかりのことと思う。

また、政府（与党と官僚）は、お金や権限だけでなく情報も管理して表に出さない。政府は国民が知るべき情報を明らかにせず、「見えざる政治」によって国民の政治への参加を事実上制限してきた。今後はその「見えざる政治」を「見える政治」に変えていかなければならない。情報が公開されなければ国民は何も知らないままである。政治に参加し、意見を言うには、正しい情報がきちんと公開されることが大前提である。

県政も同様だ。情報公開度が47都道府県中39位と言われる静岡県。次の知事には、静岡県を情報公開度全国1位にしてみたい。情報公開によって見える政治、すなわち、県民が参加できる県政に変えてもらいたいと思っている。

今度の知事選は民主と自民の戦いとなるとの報道がある。ある側面からみればその通りである。ただ、県民にとって最も良い知事を選ぶことが最も重要であることは疑いのないことである。夢と理想を持ち、実行力があって、人格的にも優れていると自信をもって全国に向けて自慢できる方に県知事になってもらいたい。県民のみなさんも、静岡県にとって最もふさわしい人は誰かを見極めて投票してもらいたい。

藤本祐司事務所からのお知らせ

■ 民主党県連、県知事候補『川勝平太』氏を推薦！

6月5日、川勝平太氏は県知事選出馬決意の記者会見を行った。藤本もその記者会見に同席した。川勝氏は、「県民のみなさんと二人三脚で、地域の自立に向けたポスト東京時代の日本の理想を静岡で実現したい」と力強く挨拶した。

「行政改革」「教育改革」「食と農の改革」と政策の三本柱を強調した。あっせんによる県庁OB天下り禁止や情報公開、学校だけでなく現場や生きる力を学ぶこと、日本の風土の再生などを政策として掲げた。

民主党静岡県連は、記者会見後の常任幹事会で、川勝氏の推薦を決定した。藤本は川勝平太選対本部長として、新知事誕生に向けて全力を尽くす。

川勝平太後援会事務所は、静岡駅南口から徒歩3分のところに開設した。皆さん、お気軽にお立ち寄り下さい。

〒420-0851 静岡市葵区黒金町 61-5 中西ビル1F TEL:054-289-8101 FAX054-289-8133



記者会見の様子



「堅い握手をする川勝氏(左)と藤本」

川勝平太氏の主な経歴

略 歴

昭和23年 京都府生まれ
昭和47年 早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業
昭和57年 早稲田大学大学院経済学研究科博士課程研究
指導認定
昭和60年 オックスフォード大学博士号取得
平成 2年 早稲田大学政治経済学部教授
平成10年 国際日本文化研究センター教授
平成18年 政府の教育再生会議委員
平成19年 学校法人静岡文化芸術大学学長
国際日本文化研究センター客員教授
「美しい国づくり」プロジェクト・企画会議
委員

プロフィール

所属／ごはんを食べよう国民運動推進協議会
会長、子ども農村漁村交流プロジェクト推
進協議会会長、浜松市やらまいか大使、
日伯協会会長、オーライ日本会議副代
表
信条／一、来るものは拒まず
一、助力は惜しまず
一、酬いは求めず
家族／妻と愛犬と暮らす
趣味／花を愛でる、ベートーベンを聴く
自然の中を散策する